

ホールインワン

おもしろ物語



磯野 久男

昭和 44 年（1969）（33 才）からゴルフを始めてはや今年で 56 年、ゴルフもすっかり枯れてしまったけれど、あの時の一打は枯れても消えません。



今回は過去のスコアカードの中からホールインワンにまつわるもので特に印象にある一コマを探し出して記事にしてみました。お手隙の折り拝読いただければ幸いです。

1972 (S47) 年 4 月 6 日 富士宮 GC 1 回目 生涯 259 ラウンド目

「設備クラブ」と言う富士市、富士宮市、沼津市の設備工事等に関わりのあるゴルフ愛好者でつくる 5 組の定例コンペでの出来事です。

なんと奇跡は此処で起こった。1.5 ラウンドのコンペの最初の 6 番ホール、右側のグリーン、152Y。7 番アイアンで打ったボールは綺麗な弧を描いてピン 2 メートルば



かり手前に落ちてするするーとカップに吸い込まれていった。ホールインワンだ！。打った瞬間なんとなく“入る～っ”と言う感じがしましてね。

なんと皆さんティーグラウンドに集まって来て騒然、大歓声だ。

かねがねホールインワンが出たら大変だよ～、皆を招いて厄払いや接待、お金がかかるぞ～。と聞いていたので、初心者の吾輩は複雑異質なエクスタシーに陥ってしまった。

この時の点数は OUT41・IN44。さて、ワンラウンド終わって食事。レストランでは「今日ホールインワンが出たんだって・・・」なんて会話が彼方此方で聞こえるにつけ、高鳴る興奮を抑えられず 1.5 ラウンド目はクラブハウスで皆の上がるのを待つことにした。

さて、記念品とかは後程お配りすることにして夜の祝賀会は市内の料理屋で済ませることにした。こんな時素早く段取って戴く先輩は居るもので、嬉しいやら不安やら何とも複雑・・・。

ホールインワンと言うのは本人より仲間の方が楽しいものだと言う事が分かった（苦笑）。

ところで話はこれで終わらなかった。仲間の中に特に親しくお付き合いをしている友人（仮称 S 木君と S 賀君）が居られ「ホールインワンが出たら費用は其の人持ちでゴルフ旅行に行く…」と言う申し合わせがあったのです。すでに S 木君のホールインワンの時、福井県方面を旅し敦賀 CC で記念ゴルフをした経緯があるので吾輩も此の約束から逃げられない。自分には縁が無いと思ってしっかりご馳走させての贅沢旅行がまさかブーメランになるなんて・・・。

早速翌月の 5 月末日、当時人気の四国・道後に行くことに。三人ともピンクのパンツに揃いの上着の派手な格好でゴルフバックを担いだ新幹線の旅である。此のいで立ちはプロゴルファーに映ったか田舎者に見えたか？。



一日目はホテル近くの名門「松山ゴルフ倶楽部」で記念ゴルフ。ゴルフは勿論楽しかったが面白かったのはホテルでの夜であった。シアターで派手なビックショーを見たあと部屋に戻ったら仲居さん(?)らしき方々が待ち構えて居て二次会がはじまる。何故か異常に丁寧で話がかみ合わない。何か変だ?。原因は其の時放映中のテレビにあった。有名な金田正一選手らしきグループが松山ゴルフ倶楽部でプレーしている様子が映し出され我ら3人が其の仲間だと言う訳だ。そう言われと我等によく似ている。。違う違うと言っても信じられない、結局芸能人扱いにされピンクパンツのゴルファー三人組はホテルの人気の客に成り大歓迎を受けたという次第で有ります(笑い)。

さて、いよいよ帰国、松山空港でハプニングが起こってしまった。土砂降りの雨と濃い霧でジェット機は着陸出来ないとのことだ。地方空港の弱みか?。地元の人達は手慣れて居てさっさと汽船に乗り替えて本土へ。途方にくれて居る我らを見てタクシーの運転手さん、近くに「道後ゴルフ倶楽部」が有ります、如何ですか?、と。少々小雨も味方してか、運転手の誘いに乗ってゴルフ場に直行。結局1泊増え四国道後のゴルフの思い出はより濃いものとなったという訳ですが、3000年の歴史を誇る靈験説話豊かな神代白鷺道後温泉街に居ながら観光しようとは誰も語らず、只々ゴルフに熱中、あの頃が良かったのか悪かったのか、三泊四日の楽しかったホールインワン記念旅行、若い時しか出来ない説明のつかない無謀な人生、今になっては懐かしくアンチエイジング(抗老化)の手助けに成っている事と自分なり納得して居るのであります。

(その後、改めて魅力たっぷりの道後温泉観光に行ってきました(笑))

➤ 1977 (S52) 年 2 月 23 日 取手新日本ゴルフ場 4 回目
生涯 919 ラウンド目

弊社の会計顧問（東京浅草）が主催する「栄会」と言う定例会、1,5 ラウンドのコンペ。食事をした後の最後の 9 ホール、第一コース 2 番ホール、105 Y で起こった。

この日は不思議とホールインワンを予告して出たのです。

前の組がパットの最中なのでトイレの用を済ませる時間が有った。



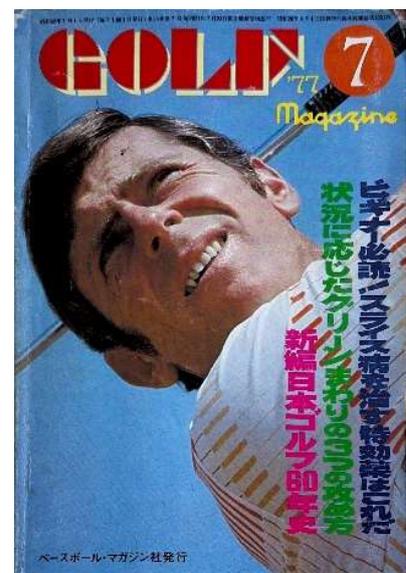
ティーに戻ってティーアップした所、何故か入る様な予感がしたので同伴の税理士先生方皆さんに其の事を告げて打ったボールが宣言した通りに入ってしまったのだ。嘘のような本当の話です。

短いホールだが砲台グリーンで谷越えのちょっとプレッシャーのかかるホール。しかもピンは手前、ショートすれば谷に転げ落ちる難しい所にピンが見えた。その難しいホール、ピン手前 20 cm あたりに落ちてワンバウンドでホールインしてしまった。大きくバウンドしなかったのはグリーンが溶け出して柔らかかったせいでしょう。

ホールインワンってピンの位置などあまり関係ない様ですね（笑）。

さて、我がゴルフ人生のアンビリバボーは此のゴルフ場のホールインワンから始まった様な気がするのです・・・。

ホールインワンも 4 回目なので手慣れた出来事と言う事でキャディーさんにチップをあげ皆さんには表彰式で簡単に報告、遠方からの会員も居



られるので早々に解散と言うごく普通の例会でしたが、吾輩は東京一泊を予定していたので風呂に入ってゆっくりくつろいで居たところ「磯野さん、フロントにお越してください・・・」とアナウンス。何事か・・・？、家に何かあったのか？、入浴中の事で焦りましたね。

“今日ホールインワンをしたそうですね、黙って帰って貰っては困ります。”（キャディーさんからフロントに報告したのか？）

此処は糸山英太郎先生が関係するゴルフ場で「日本ゴルフ新聞」を発行して居ります。すぐゴルフウエアに着がえてゴルフスイングをして下さい。写真を撮りますから・・・と。結局スコアカードと共に新聞に載り「4回目のホールインワン達成・・・云々」と報道され各地に知るところとなってしまう。

結局これがきっかけとなり「ゴルフマガジン」やゴルフ週刊誌など記者達の取材や投稿に追われることに成るのであります。

1977 (S52) 年 4 月 22 日 富士チサン C C 5 回目 生涯 941,5 ラウンド目

当時、静岡県と山梨県のアマチュアゴルファーで構成される「第 14 回山静大会」。288 名参加の盛大な大会で「杉田ゴルフ」の選抜選手として出場した時の出来事です。スタートホールの為ティーやグリーン周辺には応援するギャラリーが大勢詰めかけ賑わっている。緊張する場面ですね。



ホールインワンは其のスタートホールで起こった。白糸コース1番158Y、左グリーン、ピンは奥の下り傾斜に見えた。難しい位置だが6番アイアンで打ったボールがワンピン手前に落ちてスルスル〜と入ってしまった。何時もの事だが打った瞬間から良い感じ〜、心がカップに吸い込まれていく感じでしたね。大きいノーズ口（言葉が悪くて御免なさい）という感じだ。カップインするところまで良く見えた綺麗なホールインワンでした。

さて、成績発表前のパーティー会場は両県を代表する夫々のチームのメンバーで大きく賑わって居た。当然ながらホールインワンがあったとの話題が吾輩にも聞こえるが其の男は誰だ？、と言いながらも私に気付く人は少なかった。知る人ぞ知る、で私はあまり有名でないので（笑）。

併し一方では「サインは磯野」とばかりに盛り上がりお蔭でこの日のプレー費は高かついた。ホールインワンは本人より仲間を幸せにするカンフル剤で有る事をまたまた感じた一日でした(笑)。

後に成ってホームコースでもあり白糸コース1番ホールに記念樹を、と言う事でティーグラウンド周辺をつつじの花壇で囲み綺麗に整ったが、1年もしないうちにティーグラウンドは改造され全く其の姿は見当たらなくなってしまっていた。シャイな性格の小生にとっては名前が消えたので返ってよかったと納得・・・。



さて4回目のホールインワン以来マスコミとのお付き合いの中「その後如何？」てな感じで週刊パーゴルフの記者が暫くぶりに訪ねて来られたわけだが、「実はあれから7回目のホールインワンが出たんですよ・・・」と言う私の言葉に一時沈黙・・・？。因みにこの年は124ラウンド、合計10,195ストローク（参考まで）。

2月取手新日本ゴルフ場、4月富士チサン CC、9月富士宮 GC、10月富士ロイヤル CC と4回達成と言う話に安易に記事に出来ないので確実な証拠を、と言わんばかりの雰囲気。幸い初ラウンド（1969）から7回目（1977）（999ラウンド）までのスコアカードを年毎にファイルして保存して有るので一枚一枚探ることに成った。結局、スコアカードをめくり乍らの会話の中から、余りにも異常な出来事なので題材が決まらず適当に記事化して掲載して戴くよう記者にお任せすることに成った。

取材して間もない1981年5月に「ホールインワン前後は異様、絶対に厄払いを・・・」などのタイトルで4ページにわたり顔写真入りで報じられた。

1976年は、昼はゴルフ、夜に仕事の手配など事業は順調のなか自身の交通事故やケガ、拳銃の果てダンプカーを運転する女性の脇見運転が原因の息子の交通事故死等など、絶望感の裏で信じられないホールインワン劇に

「禍福倚伏」（かふくいふく）の人生だった事として詳しく報じられていた。良いことの後に禍いが潜み禍の後に良いことが・・・。

因みに1976年～1977年、精神的にも体調的にも落ち着かない厄年、しかも男の大厄だそうで「禍福はあざなえる縄のごとし」とは言え余りにも残酷を味わった時期でありました。



1991 (H3) 年 10 月 26 日 大富士GC 8 回目

生涯 2425 ラウンド目



顧客様と取引業者との「FBC」と言う親睦定例の7組のコンペ。幹事から、しっかり教えてやって下さい、と本日初ラウンドのTさんが同伴者。いろいろ指導しながらスタート間もない4番ホール、此処でホールインワンが出てしまった。

それを見ていたTさん、全く感動もなく無関心・・・、こちらが驚いたほどだ。後で聞いた彼の話、穴に向かって打っているのだから入ったって普通の事だと思った、と言うのだ。そう言われて見ればそうだなあ～、だが、ゴルフをされない人達は皆そう思って居るのだろうか？。

ホールインワン実現の不確実な現実を考えさせられる「何か？」を感じた今回の出来事である。以来Tさんも転勤され会う機会も有りませんがゴルフに夢中と聞いてます。果たしてホールインワン感は変わっただろうか？。

本サイトはこれで終わりですが、折角ですから此のホールのホールインワンの状況を少しばかり触れさせていただきます。

問題の4番ホール、右グリーン129ヤード、カップは見えないがピンの半分ぐらいが見える少々打上げホール、キャディーさんはティーグラウンドの右側の小高い場所からショットを確認して居るというトリッキーなホールである。8番アイアンで軽く打ったボール、何となくいい感じ、と思ったところ「入った入った！！」とキャディーさんの興奮気味の叫びだあ～。なんと此のホール“リポビタンD一年分の賞品が付いているんですよ・・・”とキャディーさんの言葉。知らずに打った無欲の一打！。

その日の内にスナックを貸し切ってお祝いのパーティー、盛り上がりましたね。後日、約束通り「リポビタミンD一年分」をメーカーから頂戴、丁寧に御礼の手紙を出してから皆さんと手分けして戴くことに。そんな折、翌月には初孫誕生と言う我が家にとってこの上ない至福の一年で有りました。（因みにこのホール、コース改造で今は使用していない幻のホールと成ってしまいました。）

1999（H11）年9月10日 リバー富士CC 9回目 生涯3045ラウンド目

リバー富士CCの協力会「RGK会」と言うコース管理などに関わる業者などで構成されている7組の定例会コンペで起こった。

ホールインワンって実力だ、とかマグレだとか言いますが其れで片付けられない不思議な何かが有りますね。

昨日（9月9日）リバー富士CCで富士・富士宮地区の国際奉仕団体ライオンズクラブの大きいコンペでホールインワンをした人が居り、其れに立ち会ったと言うキャディーさんのMさんが今日の私達のキャディーさんで有った。（其のコンペに小生も参加していた）

なんと、その会話を聞いた小生一言「それなら今日俺が出してみるか！」と冗談混じりの独り言が心なく口から出てしまった。

不思議と言うのは次のホールで本当にホールインワンが出てしまったからだ。

駿河コース2番ホール、左側のティーグラウンドから右のグリーンに向かって打つ、ご存じ池越えの短いホール（117Y）。PWで打



ったボール、「グシャ〜」と鈍い音がして消えてしまった。

一瞬オーバーして奥の垣根に飛び込んだのかも？、と思いながらグリーンに行ってみて驚いた。しっかりカップに収まっていた。ダイレクトのホールインワン、初めてだあ。

実はこの時のボールはスタートの一番ホールのセカンド地点の道路に落ちていたロストボールを拾ったもの。因みに新品の HI-BRID7、神様からの贈り物だったと勝手に納得しておりますが、不思議なのは何時も小生愛用していて本日偶々家に忘れてきたボールと番号まで同じなのである。

話が大きくなったのはこれからです。

パーティーの席でお決まりの挨拶をさせて頂いたのですが何とも 1999 年 9 月 9 日に 9 回目をしたかった・・・云々、と話したところ、これを聞いていた参加者の中にプロの写真家柳瀬さん（リバー富士 CC の写真のアドバイザーをして居た方）と言う方が居られ、このネタを欲しいと言う事になり、又またパーティーが終わった後でゴルフウエアに着がえ現地へ行って写真撮影・・・そればかりか週刊パーゴルフに掲載すると言うので改めて我が家のリビングで彼の詳細な取材を受ける事になったのです。

流石にプロの写真家、反射板など持ち込んで何枚も撮影する。結局週刊パーゴルフに「99 年 9 月 9 回目のホールインワン」とのビジュアルなタイトルで掲載、お蔭で



宣伝（？）よろしく皆様の知るところとなり、所属のライオンズクラブのゴルフ部の皆様による主催でホテルグランド富士で盛大に祝賀パーティーと言う事に相成りました。

自分としても、もうこれで出ないだろうと思ってしっかり振る舞ってしまった。保険にも入って居たことだし・・・この日は会費制の祝賀会と言うことで、会費を戴いたお返しと考え参加者夫々の名字の印鑑を制作し印伝のケースに入れてお配りし盛大に厄払いをさせていただきました。



さて、この世は「諸行無常」と言うか、不思議な運命を見る事に成るのですが、お世話になったキャディーのMさん、長い事キャディーをして居られホールインワンに立ち会ったのは初めての経験だと大変興奮して語って居たのだが、前日に引き続き私のホールインワンに立ち会った後、1ヶ月して私の友人のホールインワンにも立ち会い、其ればかりか



間もなく4人目にも立ち会おうと言う霊的スピリチュアルの持ち主?・・・Mさんはその後病魔に侵されゴルフ場では会うことは出来なくなりました。



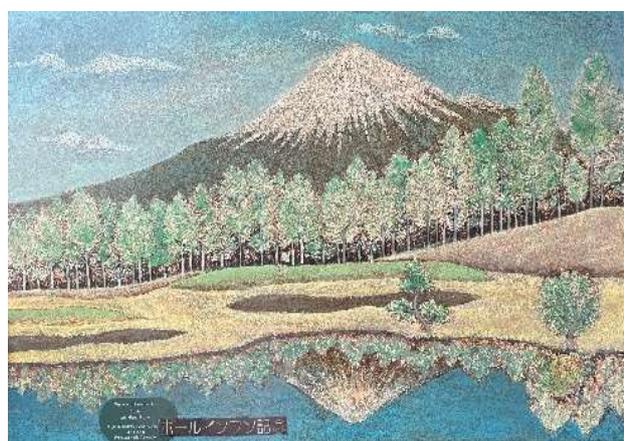
憐憫 (れんびん)



の情を禁じ得ない辛いお話につながるホールインワン物語に成ってしまいました。

 **2000 (H12) 年3月14日 リバー富士CC 10回目**
生涯3090ラウンド目

もう出ないだろうと思って居たホールインワンが半年もしない内に又出てしまった。慌てて保険会社に電話して、保険が継続されて居るか確かめちゃったね（笑い）・・・。



この日は慌ただしく始まった。

早朝友人のKさんから、彼の知り合いのT製紙のO会長さんがリバー富士CCに行きたいから予約を取ってくれと電話が掛かってきた。予約を取ってあげて小生会社で仕事をしていた所に「リバー富士で待っているのに何故来ない・・・'''」とKさんから催促の電話'''・・・。ハプニングはこれから始まった。

「な～んだ、俺とやると言う事だったんだ・・・」と言う事で急ぎゴルフ場へ。二人は富士コースのティーグラウンドで待っていた。慌ててティーショット、案の定左側の林の中にOB、トリプルボギーだ。

次が問題の2番ショートホール。137Y、左のグリーンの奥にピンが見える。前のパーティーは女性3人、ピンの近くでコールオンして待っていてくれている。

心の動揺を抑えながら 9 番アイアンで打った。アッ、シマッタ！、ハーフトップ気味？、なんとピン一直線に飛んだボールはワンピンほど前に落ちるや一気にホールに消えてしまった。女性 3 人、私のホールインワンを目の前で見届けていただく事に成った。

次のホールは大きい池超えのパー 4、ホールインワンしたボールを何気なくてティーアップしたのだが、何となく手前の池に入りそう・・・、記念のボールを池に入れては大変と気が付いて傍に居た K さんにボールを貸して戴いた、ニューボールだ。案の定、池ボチャ・・・。勘が当たって良かったのだが K さん複雑??・・・。

さて昼食、女性達から割り箸を包む袋に何やら書いたものが届けられた。なんと 3 人の連絡先が書いてあった。記念品を届けて・・・、と言う事。女性達とはお知り合いと言う事もあってホテルグランド富士で関係者と女性 3 人を含めた少人数で「幸運のおすそ分け」のお祝いの食事会で目出度く終了とした。ところがこれが結局皆さんの知るところとなり、またまた記念品を準備し大判振る舞いに。お陰さまで、今度ホールインワンが出たら飛行機に乗せてあげるよ・・・、と孫達との約束も沖縄旅行を計画しやつと果たす事ができ、爺ちゃんの面目も保つことが出来ました（笑）。

(添付の写真：富士 2 番 ベトナムの画家に依頼して制作した貝殻張付画でベトナムに工場を持つ友人 Y さんから記念として戴いたものです)

[後記]



この度寄稿の機会を戴いたお蔭で、3,750 回余りのスコアカードの綴りから沢山の、楽しく、面白く、貴重なエピソードにスピリット出来、特にいろいろある中でホールインワンは小生のゴルフ人生の中でも最もアンビリバボーな出来事に成って居る事を認識することが出来

ました。仲間を巻き込み家族を巻き込んだ奇想天外なホールインワン、大勢の仲間が此の奇怪な真実に歓喜し何時果たせるかのエースに向かってピンを狙う・・・果てしないゴルフの魅力、それを達成出来た時の心境如何だったのか、私なりに振り返ってみたいと思います。

「ホールインワンはどんな時出たのか?」



ラウンド数やスキルの高い事など必要でしょう、が其ればかりではないと言う事も・・・。

では何か?・・・。其れは精神的に余りステディでない時、動揺している時、高揚している時、などが思い当たりますね。

性格的に喜怒哀楽の激しいタイプなので、色々の外的要素が微妙に心身を刺激し思わぬポテンシャルを引き出した所業、と私なりに考えて居ります?。しかしホールインワン、「何か?」が有りますね。正しく「人智の計り知れない運命」とでも言うのがゴルフア－皆様の思いかもしれませんね・・・。

以後、ゴルフの点数も安定し、人間的にもオトナ(?)に成り喜怒哀楽の性格も落ち着き、磯野さん丸くなったね、なんて言われる様になったのが誉め言葉か、鈍感になりましたね、と言っているのか、以来ホールインワンは夢物語に成ってしまいました。



ゴルフもいつの間にか 3,800 回に成ろうとして居りますが、74 才 (2009 年) の時にガンを発症しステージ 4 を宣告され「磯野さん後 4、5 年か?・・・」と・・・。

従って 3,604.5 ラウンド目でゴルフを残念、所属していた 5 か所のゴルフ会員権の内、富士宮 GC 様とリバー富士 CC 様の 2 ヶ所を残す事に。

この2ヶ所を残した事が良かった。長い入院療養中も何時かはゴルフを、の執念が生き様とする手助けをしてくれ、時々見るゴルフの夢と重なって徐々に元気の自分を仮想して居るのに気づきました。手術4回と化学療法などの治療のお蔭で4年して寛解のレベルに。2021年には晴れて完治を通知され12年間のガンキャリアから解放されました。



其の間、最後の手術から4年ぐらいたある日、我慢出来なく成って富士宮 GC で介護者を同伴して恐る恐るハーフラウンド、無事にプレー出来て嬉しかったですね。青く豊かな木々に囲まれ一面みどりのフェアウェイが遥かに続くコースに富士の山、草木の匂い、美味しい空気、思わず涙ですね。ゴルフって素晴らしい、この時の感動は生涯忘れません。

お陰様でゴルフも家族や皆さんの温かいご理解とご協力を戴きながら、術後はボチボチ150回余りを加える事が出来、尚クラブが振れる人生に感謝しております。有難う御座いました。

今回はゴルフ人生の中、特にホールインワンに限った喜怒哀楽を思いつくまま執筆させていただきました。お付き合い有難う御座いました。

今後とも宜しくご指導の程お願い申しあげて記事を閉じます。